

magazine kobekko
april
1968 no, 84

郷土を愛する人々の雑誌

神戸っ子

4



神戸っ子 昭和40年1月20日第三種郵便物認可

昭和43年4月1日印刷 通巻84号 昭和43年4月1日発行 毎月一回

RICOH

ゴールドのブーケに
真珠をちりばめた
華やかなブローチ
お嬢様の新しい門出を
祝う装いに
ミキモトが送る
オリジナルデザインです



 **御木本真珠店**

神戸店=三の宮-神戸国際会館

Tel. 22-0062

大阪支店=堂島-新大ビル

Tel. 363-0247

京都=ミキモトパール京都(新門前通り)

Tel. 541-8171

都ホテル・京都ホテル・京都国際ホテル

大阪=阪神・高島屋・松坂屋

本店=東京-銀座4丁目

© 1968-4

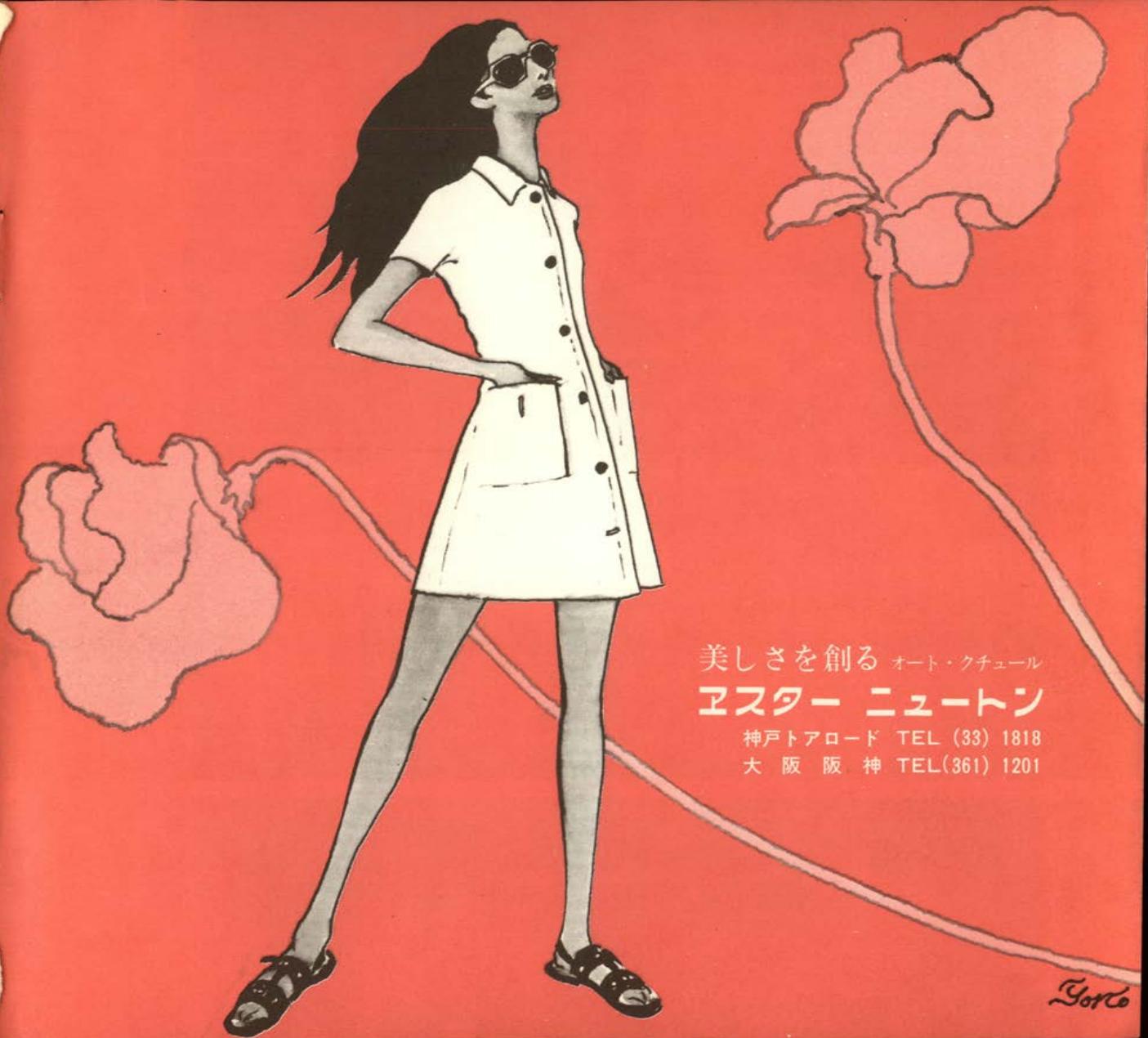
ある詩人が「多くを云うな」という

ある画家が「チラツと見るだけだ」という

ある作曲家が「指を動かすな」という

その女の耳は貝殻だった





美しさを創る オート・クチュール
エスター ニュートン

神戸トアロード TEL (33) 1818
大阪 阪神 TEL(361) 1201

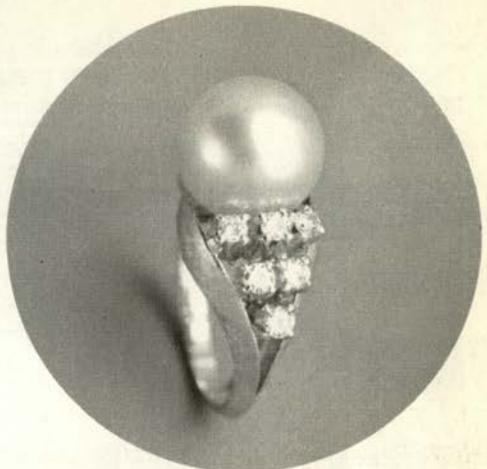
Gorco

大山道子さんは、昨年七月から半年間、女ひとりヨーロッパ・スケッチ旅行に出かけた、勇敢なお嬢さんである。イギリスやフランスなど五ヵ国をまわってきた彼女は、「やはり神戸が一番いい」と絶賛する。専門のグラフィック関係も、「いろいろ見てきましたが、日本のレベルは決して低くない」というのが帰国後の感想。何でも思つたこと、感じたことを、ハキハキと遠慮なくしゃべる。ハリのあるアルトの声、ショート・カット・ミニ・スカートに赤のブレザー・コートをカッコよく着こなした、ボーカリストである。昭和十九年、長田区の生まれ。県立工業高校デザイン科卒業後、阪急百貨店宣伝課に勤務。彼女の実力を存分に發揮して活躍していたが、この二月で退職店舗し、現在はフリー。県宣美会員。日本水彩画会兵庫支部所属。二年後の万国博の年には、イギリス青年と結ばれるなど、ロマンティックな話題につづまれ。最高にシアワセ!といつたところ。「私つて欲ばかりですから、これからもデザインだけでなく、いろんなことをやりたい!」と語る大山道子さんは、今後が楽しみみな、頼もしい神戸つ子である。写真左・神戸港四突にて 右・東遊園地にて

神戸つ子 '68 — 大山道子

グラフィック・デザイナー — カメラ・奈良勝彦





TASAKI PEARLS

●美の伝統自然の神秘はタサキパールの輝きです

田崎真珠

本社・神戸市兵庫区旗塚通6-9

三宮店・神戸新聞会館秀品店内

銀座店・東京都中央区銀座西6-5

パールファーム・溜池電停前(ショールーム)

ヒルトン店・東京ヒルトンホテル内

オータニ店・ホテル・ニューオータニ内

札幌店・札幌パークホテル内

◎ あなたの真珠はパール・マークのお店で
日本真珠小売店協会加盟店



三原新監督を迎え、今年こそは初優勝を！ とはりきる近鉄バッファローズ。開幕を前にしての明石球場での合宿訓練にも熱が入る。昨シーズン、21勝を記録して一躍エースとして注目をあびた鈴木啓示投手。昨年の熱球をみて「こんなすばらしい投手を見ては十数年ぶり！」と三原監督がうなつたという。入団して三年目。今年は去年より一つでも多く勝つよう、まず22勝を目標に頑張りたい！ それが達成されたら30勝して優勝！ と意欲的に語る鈴木投手は、激しいトレーニングの毎日から、エースとしての自信と実力を養い、一段とピッチングにもスピードと冴えを見せている。

昭和二十二年、西脇市の生まれ。青英高校出身。在学中は、春の選抜大会で甲子園に登場したが、一回戦であつさりと破れてしまったそうだ。趣味は食べることと寝ること。ほかにレコード、映画鑑賞。今年、成人式を迎えたばかりの若さにあふれた現代青年、鈴木啓示君は、身長一八一センチ、体重七七キロの伸びきった肢体を、もてあましているかのように大きく伸びをした。黄金の左腕。鈴木啓示投手の今シーズンの活躍に期待しよう。西宮市在住。

（写真は明石球場キャンプ中、錦明館にて）

神戸つ子'68—鈴木啓示

（近鉄バッファローズ・ピッチャー）——カメラ・奈良勝彦



BAGS TAKAHASHI GOLF
GOODS



伝統と信用ある元町に
KOBEセンスを生かして新装開店！

GOLF & BAG タカリヨ

神戸・元町3丁目 TEL33-1172・7782



►定評あるタカハシの
オリジナル・バッグコーナー



オリジナル・バッグコーナー



ある集い

→ 兵庫県青年彫刻家集団 ←

「彫刻不毛の乾地と言われた
兵庫県にわれらは集団の旗印
を掲げました。」

兵庫県青年彫刻家集団が誕
生したのは、昭和四十一年二
月九日。洋画家に比べて、彫
刻家はその数も少なく、職人
的な仕事という性質上からも
交流の場がなく、バラバラの
活動状況であった。

そんな彫刻家が、集団とし
て一堂に作品を集めて発表し
会員間の刺激だけでなく、一
般への啓蒙にも役立ちたいと
話し合って生まれたのがこの
集団。

二月十九日から五日間、大
阪北のあかお画廊に統いて、大
神戸国際会館五階ギャラリー
で第三回展を開催した。

会場に所狭しと並んだ作品
は、素材は木、金属、プラス
チックとさまざまであるが、大
きくと抽象的な作品。その意欲
的で、素材が「青年」を感じさ
せる。

県内での発表の場が少ない
ことが悩みだが、中央への出
品だけに終らず、微力ではあ
っても地方文化への浸透をと
いうのが会員皆の願い。
このような彫刻家の集団は
恐らく他府県には見られない
ものであり、兵庫県青年彫刻
家集団は、一回展、二回展と
回を重ねるたびに、その反響
の輪を大きくしている。

写真は前列左から、小林陸
一郎、川久保健三、山口牧生
後列左から、小川陸朗、齋藤
正親、藤本敬八郎、小黒淑江
渡辺宏、大垣圭介、庄鶴照美
納健、神戸国際会館五階ギ
ラリードラマ。

港の見えるレストラン



*

KITANO CLUB

Restaurant

CORAL KITANO

北野町 Tel. 23-2251



KITANO CLUB JUNIOR

RESTAURANT

Blanc de Blanc

プラン ドゥ ブラン

Tel. 32-1455 京町77-1 神栄ビル



★コウベスナツプ★



写真上 五突いっぱいに白い船体を接岸したオーカデス号
写真下 左・中央は五突に並んだ土産物屋で買物する観光客
右は両手いっぱいの買物を終えた老婦人(大丸前で)

二月十五日朝、春を告げる
外国観光船の第一陣、英國船
オーカデス号(二八、〇〇〇
才)が、神戸港第五突堤に入
港。
乗客千五百二十五人は、ま
だ肌寒い神戸の街をあちこち
ショッピングに余念がない。
両手にさげた荷物の中味は、ま
さで?



SPRING HAS COME!
MURATA PEARL
PALIS HANDBAG
NIT SUITS



● 4月 目次 ●

表紙／小磯良平

Second Cover／津高和一

神戸つ子・88／撮影・奈良勝彦

⑦大山道子・88／鈴木啓示

ある集い／兵庫県青年彫刻家集団

コウベ・スナップ

わたしの意見／山内六郎

隨想三題／セキレイ地獄・永田耕衣

すづめのお宿／ただ今・0匹・細見彬文

神戸つ子対談／岩武照彦・石野成明

進水式・坂部光男

ある集いその足あと／斎藤正親

わたしの意見／山内六郎

隨想／工業的な都市 KOB 伊都子

隨想／私の神戸／中時代・山田稔

神戸モダーンリビング／水谷頸介+

神戸アーバンデザイン／チームUR

CINEMA22／波川長治

神戸のど真中を通り神戸つ子鉄道開通

動物園飼育日記23／亀井一成

PORT LOOK／福富芳美

ダイナミック神戸④阪東調帝の巻

春木一夫・たかはしも

神戸の集いから

神戸モダーンリビング／水谷頸介+

神戸アーバンデザイン／チームUR

CINEMA22／波川長治

神戸のど真中を通り神戸つ子鉄道開通

動物園飼育日記23／亀井一成

PORT LOOK／福富芳美

神戸カーニバルへのお誘い

神戸カーニバル／ある日ある時・奈良勝彦

神戸つ子会議／未来にかける国際都市

富崎辰雄・津高和一・牛尾吉朗・森中 靖

藤本昭・水谷頸介・安達昭三

リラックス・インタビュー④／

きく人・向井修二

百店会だより

ホケット・ジャーナル

神戸遊戯誌⑥／ダーツ／青木重雄

神戸うまいもん巡礼⑥／赤尾兜子

マダム・ド・コウベ③／福富芳美さんの巻

／竹田洋太郎

ダイナミック神戸④／阪東調帝の巻

百店会だより

ホケット・ジャーナル

神戸遊戯誌第7回・非難童物語／足立巻一

連載読物第7回・非難童物語／足立巻一

連載小説／兵庫の女／二六回／武田繁太郎

ダイナミック神戸④／阪東調帝の巻

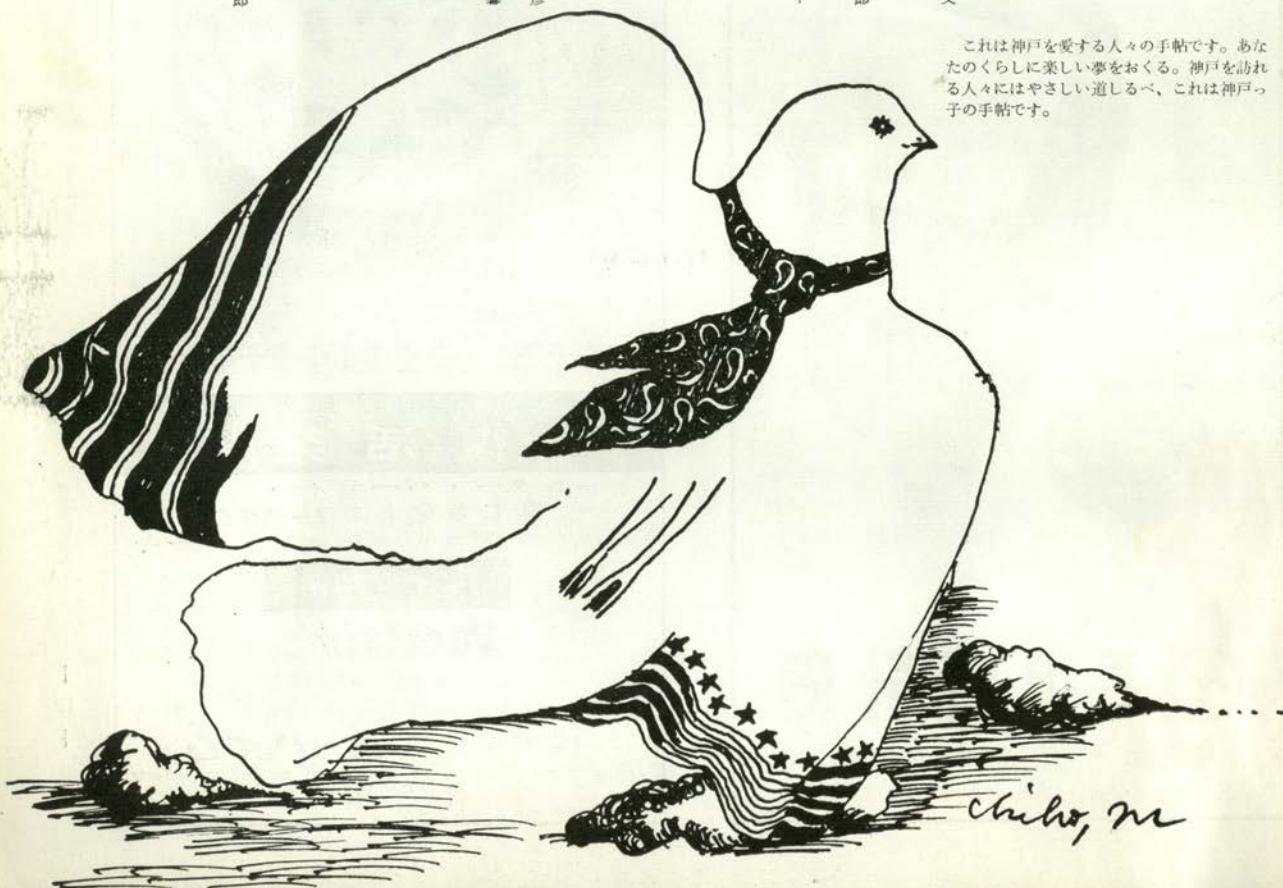
こうべるまん④／六甲山

文・陳舜臣カメラ・緒方しげを

カメラ／米田定蔵

レイアウト・カット／港野千穂

これは神戸を愛する人々の手帖です。あなたの暮らしに楽しい夢をおくる。神戸を訪れる人々にはやさしい道しるべ、これは神戸つ子の手帖です。



*世界で最も名誉
ある時計ロンジン



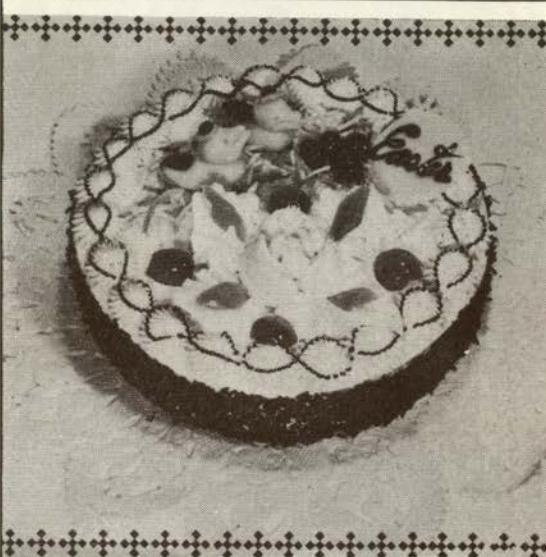
特 約 店



美 田 時 計 店

元町店・元町三丁目 TEL 33-1798
三宮店・さんちかファンシー・タウン TEL 33-8798

Happy Easter 4.14



イースター

《復活祭》

イースター・パーティー
楽しさをますユーハイムの
デコレーション・ケーキ

ドイツ菓子

Faerlein's

ユーハイム ®

ドイツ菓子 ユーハイム

本店 神戸市生田区下山手2-31(生田神社前) 電話 (33) 1694, 8063, 0067
二宮店 神戸市生田区三宮町3-15(丸久商店前) 電話 (33) 2101, (39) 3808
さんちか店 神戸市三宮地下街スイーツタウン 電話 (39) 3 5 3 9
その他有名百貨店にあります



■緑化週間にあたって
みんなの募金で
共有の森をつくろう

山内六郎

〈神戸緑化協会事務局長〉

緑の季節がまためぐってきた。学童や婦人会、ボーキスカウトなどによって、家庭や街頭に緑の羽根募金が呼びかけられている。だが、中にはいやな気持で受けとめる方、さらにはこんな思いの方もあろう——いつまで、われわれに依存するつもりなのだ。公園にしても街路樹にしても役所がやるべきことではないか? 緑の六甲を背に近代ビルの立ち並ぶ今日の美しい神戸に何の必要がある。わが家にだって植える余地もない。共同募金、赤十字募金は、それぞれ不遇な人々への人間愛であるが、緑の募金は納得がゆかぬと。

こもつともな言い分ですが、こうでもあるのです。国の総予算五兆に対し、この面の予算は、わずか十五億、〇・〇三% (昭和四十二年度)。二割自治ともいわれる地方の役所がこの数字では何ができます。また、国鉄に乗って街を見下ろしてみると、個人の庭がなくなつた戦後、六甲を背にするだけにかえって屋根と壁のみの街と化したのがめだち。昔日の品位を失つた感があります。この品位の復活は、さきの行政施策から見て住民の郷土愛に訴える以外ありません。しかも空気は当然として、"光と水と緑"は都市生活者の三要素ですし、神社寺、学校その他公開的広場で樹を植える場所はまだまだ残っています。戦後の所産である新制中学の校舎は特に緑に飢えています。裸の墓地も目につきます。そのような行政の及ばない所、あるいは及びかねる所に緑の募金は生きてゆくのです。各々庭の持てない今日、それらを共有の森と考えられないでしょうか。募金にかぎらず、緑化協会の会員としてもまた、主旨に賛同され、入会を願いたいものです。

今年は明治百年、記念事業は一〇〇%といつてもよいほど、森づくりである。平常の無関心の罪はほほしかとも皮肉りたいほどだが、結構この上もなくよいことです。願わくはこの年、一〇〇年間続けて樹を植える「植えはじめの記念」の年としてもらいたいものと思いま

HAYAMI CLINIC

内科ドック
内科精密諸検査
通院・入院

速水クリニック

市電太田町交差点東300米浜側
TEL <KOBE> 62-4031~2



隨想三題

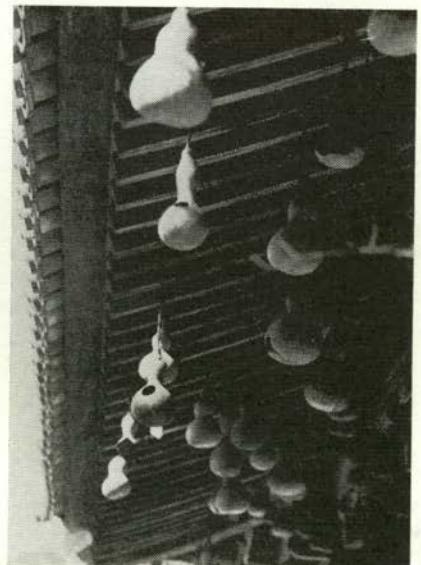
セキレイ

鶴鶴地獄

永田耕衣

△佛人△

須磨に移住してくる直前、神戸に雀がいてくれるだろうかという不安を感じた。幸い雀は群をつくり飛び廻るほどいた。私は安心して朝々逢う雀の一々に無類の親しみを覚えた。しかし、それも眼前日々の絶景、馴染めば山中山をは、山も海も好きにはなれない。しかし、田圃を見たくとも朝の散歩圏内では見つけようもない。やむなく、須磨海浜公園を毎朝、日の出前に歩いてくる習慣がつい



雀のいない、神昌寺の瓢箪

すれて寂しいのである。

下水が海に注いでいる、その流れを挿んで波打際へ傾斜する砂場に彼女たちは決まっているのだ。絶えず小走りがちに餌を漁つてゐるキリッとしたその姿は美人以上だと思う。実際にシャンと調つた立派な形である。

毎朝、日の出前の散歩者は、冬季は二、三人を越えないでの、私はほんどの海岸線を独占しているようなものだ。それで、いつもセキレイは、私を見るとチチッと鳴きながら一度は飛び翔つ。挨拶のつもりだろう。そして、私の視界から消え去ることなく人々と降りてまた餌を漁り歩く。「老人や鶴鶴しのび寄る脚下」という

虚々実々の一句を得たのもこんな時である。

二羽のうちどちらかが先に飛びしばらくして後の二羽が同じ方向に飛び翔つ。あるときは別れ別れになるが、いつの間にか二羽揃つて地上を歩き廻つてゐる。元通り二羽づれになるのを見とどけないで、そこを立ち去つた時などは実に寂しい思いをするのである。

私はその二羽づれを夫婦だと信じながら彼女たちと呼ぶことにしている。その姿形はいつも瀟洒で澄んでゐる。長い尾を絶えずリズミカルに上下に振り歩く。春先は

ある。昨年は十一月十三日に姿を現わした。数年來見覚えのある二羽づれである。どこに見覚えがあるという確証はないが、そういうことにして置かぬと、馴染がう

ある。今年は二羽づれを夫婦だと信じながら彼女たちと呼ぶことにしている。その姿形はいつも瀟洒で澄んでゐる。長い尾を絶えずリズミカルに上下に振り歩く。春先は

垂直に立てたまま歩いていることがある。繁殖期を告げているのだろうが、彼女たちはいったいどこで寝泊りしているのだろう。陽春になって散歩者が多くなると、彼女たちは安らかなその極楽漁り場をおびやかされがちとなるだろ。

私は、彼女たちに恋慕の情をつらせるながら、老来、鼻毛までがセキレイの腹毛のように白くなつた体軀の内に、ひそかなる青春の血を覚えることがある。その腹いせのつもりではないが、某日こんなひどい句を作ってしまった。

鶴鶴の地獄あきらか共漁り

生きることは地獄である。同時に極楽でもあろう。その生の姿が美しければ美しいほど、この地獄感はつのり、極楽感もつる。いつの日にか彼女たちが、もしこの海岸から永遠にその美容を消してしまったら、私の恋慕の情は、しかしと地獄の情緒だけに凝りかたまつてしまにちがいないのである。因みに、セキレイはスズメのよう群れていることは絶対にない羽ないし二羽づれでいることが精々である。すなわち、徹底孤高な水辺の優鳥で、無季鳥ということがなっている。

すずめのお宿 ただ今 〃〇四〃

細見彬文

（日本生態学会員 育英高校勤務）

私の住む団地にはベランダに小さな花壇がついているから、みんなは植木鉢を置いたり、盆栽を作つたりして楽しんでいる。私は無精者だからそんなことはしない。花壇にはなにもないし、眼下は新長田のゴム工場地帯の煙突が立ちならんでいるのが見えて、いとも殺風景である。五階の窓から見える自然といえば、ビルごしに飛ぶスズメの風景ぐらいである。

いたずらをしてみる気がおきて花壇にお米を少し撒いたところ、二日ほどして一つがいのスズメがやって来た。花壇の肩にとまってお米をながめているが、最初は手をつけずに帰つてしまつた。五日目に、またお米がなくなつたのに気がついた。このころからスズメの数はめだつて増え、十日目になると入れ代り立ち代り、レストランは大繁盛になつた。ケンカをする奴もおれば、弁当箱に作った水飲みで水遊びをするものもある。これはゆかいと続けておいたら、家内からほどほどにせよ



僧がこない 鶴のお宿（禅昌寺）

と文句がでた。お米はもつたないし、四階の人の乾していた蒲団がごぞれていたというのである。残念ながらめざるを得なかつた。そうこうしておるところへ、鳥の好きな青年二人がやつて來た。

青年たちは鳥の生態を調べるのよい仕事はないかという。私は鳥の専門家でないが、内でできないのを外でやれ、と思つて、板宿の禅昌寺にかけ合つた。禅昌寺は雀のお宿で知られているものの、戦後はスズメがさつぱり寄りつかなくなつてゐる。これに動物生態学を応用して昔のようになつて復活しようというのである。それをしながら青年たちは生態の観察をするといふ段取りである。お寺さんは一も二もなく賛成してくれた。彼等はさつそく仕事をかかつてゐる。

戦前はお堂にぶら下つてゐる瓢

簾に巣を作り、賽銭箱からこぼれた米粒や、堂守りの絵かきさんがやる餌をついたばんでスズメ達は大団地を作っていた。当時は近所の百姓がお寺に抗議に来たこともあらう。ところが堂守りも去り、賽銭箱にお米を入れる人もいなくなつて食糧がなくなつてしまつた。まあいわばどこかの市が作るような市場のない団地に似ている。まかないのつかぬ下宿はいやだとスズメの方からお断りしてしまつた。今ではお堂の瓢箪には一羽もいない。ただ今「0匹」である。

お寺の周囲にはまだ森が残されているのが幸いだ。前には竹籬もある。調査して見るとスズメの他にキジバトやヒヨ、イカル、ルリビタキなどもいる。これらの小鳥をうまく集めれば、小鳥と人間の社交場ができる。サルの餌づけは有名な例だが、餌づけは本来、小鳥にほどこされるものである。この雑誌ができるころには、もうだいぶ小鳥が来ていることだろう。

進水式

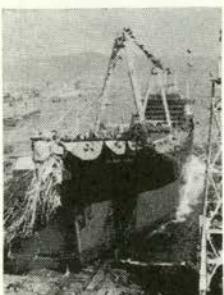
坂部光男

△三菱重工神戸造船所船製課▽

某月某日午前八時、船台に紅白

の幕が張られ、美しく化粧された新造船が、静かに進水式を待っている。

船の命名に続いてささえ綱が切斷され、船首に清酒のしぶきを浴びつつ、静かに巨船が船台を滑り始める。船主に高くつりあげられたクス玉が割れ、五色のテープの中を平和の使節、白鳩が舞いあがり、同時に神戸在港の船舶が一せいに吹き鳴らす汽笛に祝福されながら、万雷の拍手と共に、その雄姿を神戸港に浮かべる。



進水するせんだん丸

式典は、その全行程をほんの数分間で終えてしまうものであるが、このはなやかな光景は、造船所の一番晴れがましい行事である。こうした進水式が、当造船所では一ヵ月平均一回は見られる。私個人の体験では、昭和二十三年の生田丸から四十三年のせんだん丸まで、一四九隻の進水式を見てきた。この一見はなやかに見える進水式の舞台裏でも、黙々と汗を流している重要な裏方さんがいる。それが「船台大工」と呼ばれる我

々作業員である。この作業は予行も仕直しも絶対許されない。そのためには、造船所でも選り抜きの従業員約二十名が當時配属され、進水行事関係全般がその仕事で、船が船台にのってから降りるまでの重要な作業に取り組んでいる。まず空いた船台に船を据える場所を設定するが、この船底の保持が正確でないと、船が出来るに従つて船体が船台からはみ出し、クレーンの運転はおろか、進水も出来なくなってしまう。失敗すれば船一隻を台なしにするから、絶対に失敗は許されない。

特に水中部作業の苦労は大変なもので、惡条件のもとの作業は、いうにいわれぬものがある。それに最近は神戸港の海水が汚れ、ゴミのたまり場のような水中に何時間も入っているのだからたまらない。台風でひどく汚染された時は、塗装病予防薬を飲んで作業したこともある。

こうした苦労を経て、船台大工としてのすべての作業を終え、式典に臨み、飾り壇が船首に当つて割れ、清酒の匂いをかぎながら船を見送るときは、今までの苦労も忘れて、手塩にかけた愛娘を手離す時のような感涙に浸るのである。と同時にこの気持は何度味わつてもいいものである。

ことになった。

最初の集会は昭和四十一年二月九日である。初めはお互いの親睦を目的としたが、回をかさねるうちに、この会として展覧会をやろうじゃないかということになり、

昭和四十一年六月二十八日と七月七日第一回展を神戸ダイワ画廊で開くことになった。

第一回展は小品が多く、また数も少なかった。しかしそれを通じてお互いの作風もわかり、作品をきっかけとして芸術論も熱のこもったものになり、また会としての結びつきもできてきた。

この会の特色は、会員がすべて青年であるということである。この青年ということは、年令的なことではなく、その意欲のことである。

この会のメンバーは、それぞれ二科、二紀、行動、または無所属などで、独自に活躍している作家達である。青年彫刻家集団は、この若さで結ばれた会であつて各々の所属、門閥、そして年令を問わない、若々しい彫刻家のつどいであることを念願としているのである。

宝塚市野上一丁目七一九

斎藤方

(写真は神戸国際会館五階ギャラリーで行なわれた第三回展で)

TEL 宝塚86-13538

▽グラビヤ7頁参照▽



★ある集い★

その足あと

兵庫県
青年彫刻家集団
斎藤正親

美術界の中でも彫刻家は、画家に比して数も少なく、職人堅気のようなものがあって、お互いの交流がわりに少ないようである。県下在住の彫刻家も、お互いの仕事や名前は知つても、顔を知らないという場合が多いわけである。そこで藤本敬八郎などが発起人となり、抽象を主とする県下在住の作家に声をかけ、会を結成する

昭和四十三年二月五日から六日間、大阪北区あかお画廊で彫刻展を行ない、それに続いて第三回展を昭和四十三年二月十九日より五日間、神戸国際会館五階ギャラリーで行なった。

現在この会の入会は、会員二名以上を推薦により会員にはかって決定することになり、したがつて入会はかなり厳しいものになつてゐる。

三回展で一応この会の基礎が固められたと考えられるので、今後更に努力し、彫刻界の一翼を担うべく会の将来のこととも度々話し合われている。県の美術館で野外彫刻展をやりたい、あるいは山奥に集団で入って、木彫シンボジュームをやりたい、又県下の各地をトランクで回つて彫刻展をしては等々の計画がねられている。

この夏はメンバーの多数が小豆島で行なわれる石彫シンボジュームに参加することになつてゐる。

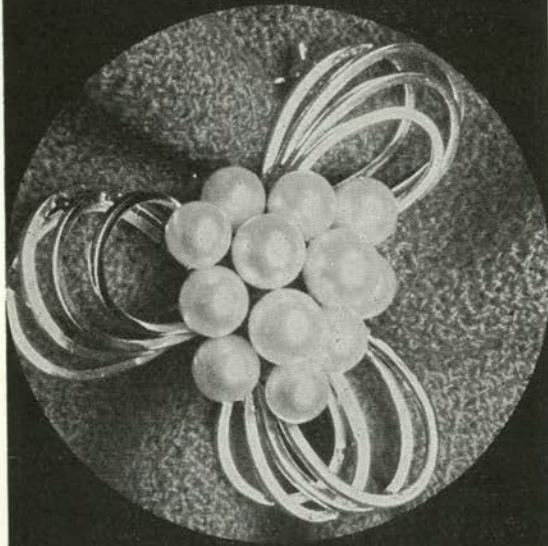
□事務所

宝塚市野上一丁目七一九

斎藤方

Kitamura Pearls

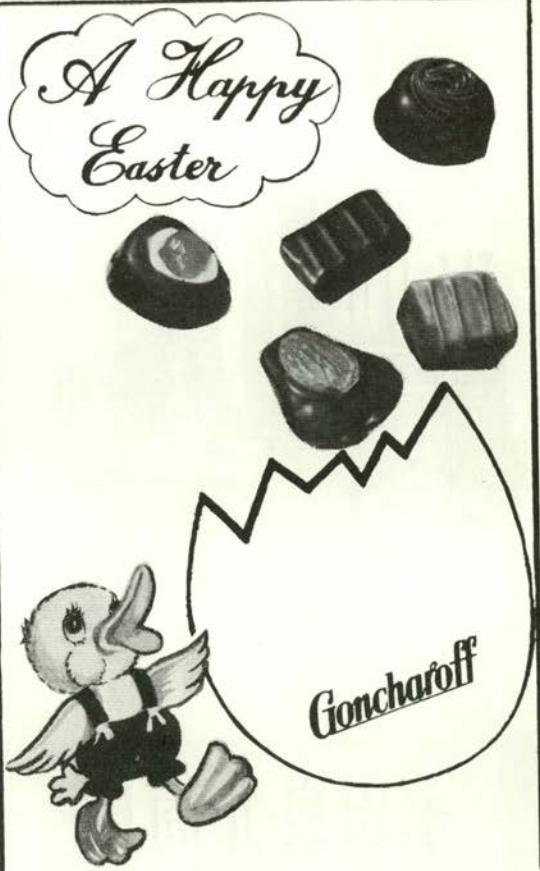
世界の人々に愛される
キタムラパール



北村真珠株式会社

神戸：元町店 TEL (33) 0072

東京：スキヤ橋店 TEL <571>8032

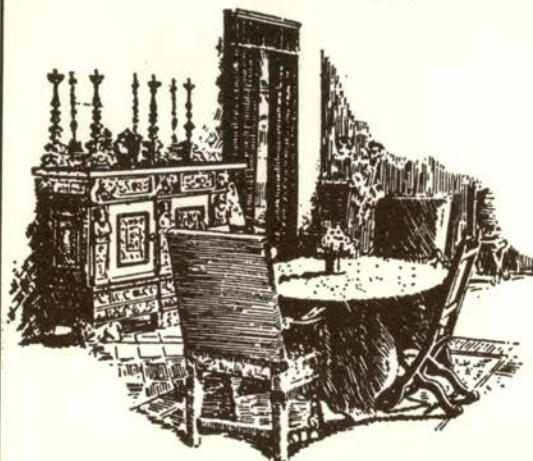


チョコレート*キャンデー

ゴンチャロフ

本社 神戸市生田区加納町4の1 TEL 39-2636
直売店 さんちか・スイーツタウン TEL 39-3563

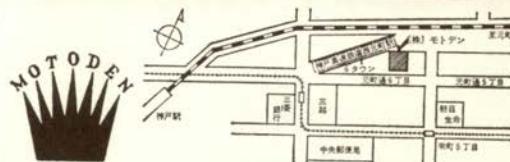
家具·室内装饰·工艺品



永田良介商店

神戸市生田区三宮町三丁目・大丸前・電話神戸(39) 3737(代表)
東京店・東急百貨店 日本橋店内 1階 03(211)0511
本店(渋谷) 6階 03(462)3180

舶来ムード 照明の店



株式会社 モトデン

本社★神戸市生田区元町通6丁目26
(電話(078)34-4196)

工場★神戸市葺合区琴緒町1丁目10番地
(電話(078)22-8947)